

科目名	専門分野			ディプロマ・ポリシー(DP)	DP 3 DP 4		
	地域・在宅看護論			担当教員	外部講師 専任教員		
	在宅療養支援						
履修学年	2年	履修学期	前期	単位数	1	時間数	30
授業目標	1. 訪問看護の特徴を理解し、訪問時に必要な基本的姿勢と基本技術を身につけることができる。 2. 暮らしの場で行われる治療と看護について理解できる。 3. 在宅療養の場における日常生活を支える看護技術を習得する。						
回	学習内容				方法	担当教員	
1	1) 在宅ケアを支える訪問看護ステーション				講義	外部講師	
2	2) 訪問看護導入のプロセスと療養者・家族への支援				講義		
3	3) 在宅看護における安全と健康危機管理（感染予防対策、災害対策）				講義・演習		
4	4) 医療的ケアの援助技術 (1) 服薬管理				講義・演習		
5	(2) 在宅酸素療法（HOT）の実際（業者：帝人）				講義・演習	専任教員	
6	(3) 在宅人工呼吸療法（HMV）				講義・演習	外部講師	
7	(4) 膀胱留置カテーテル、膀胱瘻、腎瘻、ウロストミー				講義・演習		
8	(5) 在宅経管栄養法（HEN）、在宅中心静脈栄養法（HPN）				講義・演習		
9 10 11	5) 生活ケアの援助技術 (1) ①住環境と移動の援助 ②日常生活補助具・福祉用具の活用方法と住宅改修佐賀県在宅サポートセンターにて演習 （脳梗塞後遺症の患者、脊損の患者の事例）				講義・演習	専任教員	
12	(2) 食生活の援助 ・食のアセスメントと自立を促すケア ・リスクマネジメント（誤嚥・誤飲・窒息の防止、低栄養の予防、食中毒の防止） ・社会資源の活用				講義	外部講師	
13	(3) 排泄の援助 ・排泄のアセスメントと自立を促すケア ・リスクマネジメント（排泄障害の悪化防止） ・社会資源の活用				講義		
14	(4) 清潔の援助 ・清潔のアセスメント ・療養者の状態に応じたケア方法の選択 ・環境の整備				講義		
15	・物品の工夫 （演習：臥床療養者への手作りクレーパッドを用いての洗髪） ・社会資源の活用（訪問入浴サービスの実際を視聴）				講義・演習	専任教員	
評価規準 評価方法							
テキスト および 参考文献	専門分野 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤（医学書院） 専門分野 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践（医学書院）						
履修上の注 意点							